



「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成
～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～

泉佐野市立第三小学校



『家庭学習』の習慣は 一生もの

今年は梅雨入りが例年より遅く、「まだ、梅雨に入らないのかな。」などと、待ちわびるような思いも芽生えた6月でした。校庭のあじさいが綺麗に咲きほこるなか、昨日からのプール指導では子どもたちの楽しそうな声と、少しでも泳ぐ力をつけようとする頼もしい姿が見られています。

さて、今月は私自身の子どもの頃の体験をもとに、『家庭学習』のお話をさせていただきます。

小学2年生のころ、当時の担任の先生は私たちに宿題も出しましたが、「自分で考えて、自由勉強をしておいで。計算でも漢字でもいいし、自分が調べたいと思って調べたことでもいいよ。」と、三小では『自学』と呼んでいる取組みを勧めてくださいました。そして、自由勉強帳（ノート）に学習してきたページ数や内容に応じて、『たいへんよくできました』や『よくできました』などのスタンプを押してくれ、スタンプの種類に応じた枚数のシールを教室の壁の模造紙大のクラス名簿一覧の自分の名前のところにシールを貼っていきました。自由勉強をよくやって来ている子と、そうでない子がシールの数でわかる方式です。（今の時代には、そぐいません）

私はその先生の方式に見事にはまり、「ライバルの〇〇さんに負けまい。」とシールの数勝負で、一進一退の攻防の日々が続きました。内容は決してほめられたものではなかったと思いますが、ページ数を稼いで一つでも多くのスタンプをもらうことに専念していました。

ある日、教室で担任の先生が「泉谷君、前においで。」と私を呼び、「ねえみんな、泉谷君は自由勉強、毎日がんばっていてえらいよ。」とほめてくださいました。そのことで私はさらに気を良くし、自由勉強に力を注ぎました。

3年生の時の担任の先生も、自由勉強を勧めてくださる先生で、私の自由勉強癖はさらに進んでいき、内容面も少しではありましたが、良くなっていったように思います。

シールの数を競うという動機でしたが、小学生の時に身に付いた自分から机に向かう習慣は、中学校、高校までとても良い影響をもたらしてくれました。今でも小学校の先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

第三小学校でも、『自学』を勧めています。内容については、子どもたち自身で考えて行うことに意義があるのですが、下に例を示しておきます。ご家庭で参考にさせていただき、子どもたちに『自学』をぜひ勧めてあげてください。これからは自分で自分の得意なことや苦手なことがわかり、課題を乗り越えていく力が、これまで以上に求められる時代になっていきます。

- ・授業の予習（学習内容を知り、学習のめあてを立ててくる程度）
- ・漢字や計算練習
- ・テストで間違えた問題に再チャレンジ
- ・本を読んだ感想を書く
- ・復習
- ・自分の得意なスポーツや興味のあることを詳しく調べ、まとめる
- ・漢検や英検合格をめざし、自学でその日にやることを決める
- ・『マイノート』（5・6年）を活用する などなど



校長 泉谷 一

※学校での日々の様子や情報は HP にて更新中です。

泉佐野市立第三小学校

検索 🔍